

# 高輪消防署からのお知らせ

## スプリンクラー設備による消火後の水損防止について

本年に入って当庁管内の建物火災において、スプリンクラー設備による消火後、制御弁の閉止に時間を要し、下階に水損被害が発生した事案が複数発生しています。いずれも制御弁設置場所が施錠されており、消火確認後、閉止する際に解錠までの時間を要したものです。

つきましては、自衛消防訓練の際、スプリンクラー設備による消火後の制御弁設置場所の解錠及び制御弁閉止までを想定に入れて実施するなど、迅速な活動により下階への水損被害をできる限り小さくできるよう、いま一度ご確認をお願いいたします。

なお、スプリンクラー設備の制御弁の閉止など復旧方法は、当庁のYouTube 公式チャンネル等で公開している動画で紹介しておりますので、あわせてご確認ください。

(YouTube 東京消防庁公式チャンネル「スプリンクラー設備・泡消火設備の復旧方法を覚えよう! (<https://youtu.be/vmsgCD11g8E>)」)

事例 1	
火災概要	1 2 階共同住宅の居室内で出火し、スプリンクラー設備が作動して消火した建物部分焼火災
水損拡大に至る状況	消火確認後、消防隊は駆け付けていた防災センター要員に制御弁の閉止を依頼したが、制御弁が設置されているパイプスペースの鍵を防災センター要員自ら防災センターに取りに戻ったため、制御弁の閉止に時間を要した。1 2 階から 1 階まで水損被害が発生した。
推定される放水量	約 6,500L

事例 2	
火災概要	1 0 階事務室内で出火し、スプリンクラー設備が作動して消火した建物ぼや火災
水損拡大に至る状況	消火確認後、消防隊は駆け付けていた防災センター要員及び設備担当者に制御弁の閉止を依頼したが、制御弁が設置されている機械室の鍵は設備担当部署が管理しており、現場にいた設備担当者が 1 0 階から地下 4 階の鍵の管理場所まで階段で往復したため、制御弁の閉止に時間を要した。1 0 階から 3 階まで水損被害が発生した。
推定される放水量	約 3,000L



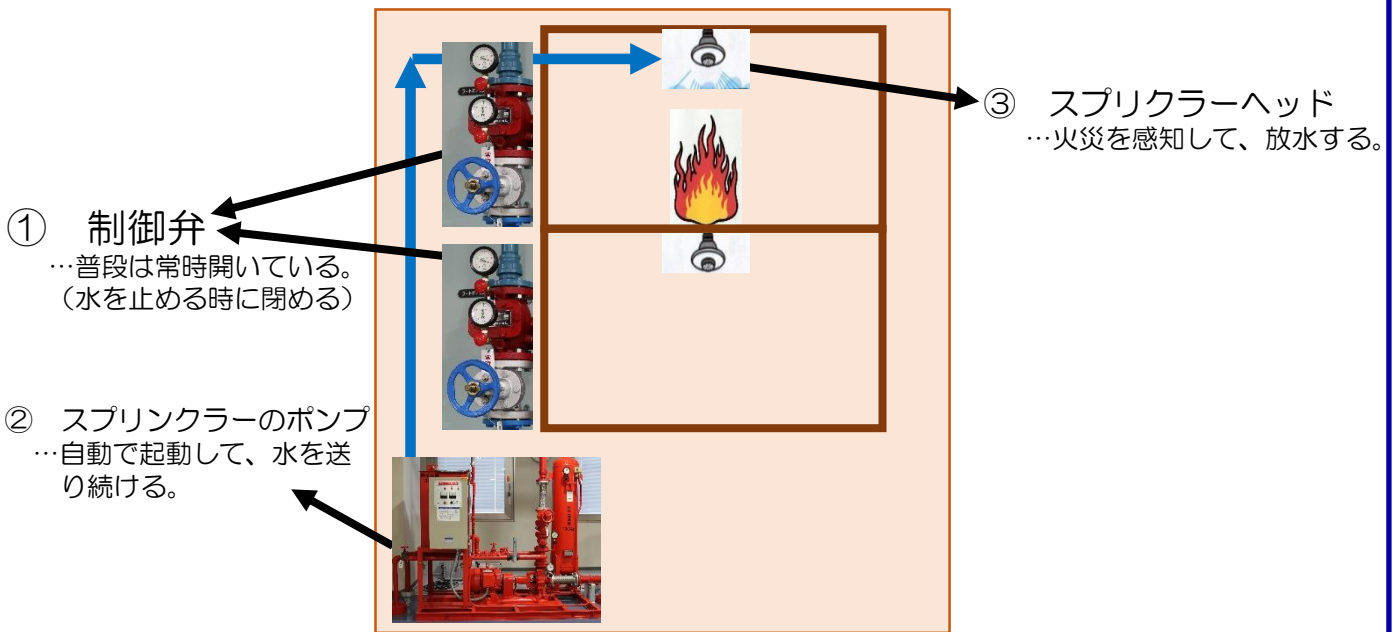
# スプリンクラー設備

## 1 仕組みを理解しよう

天井等に設置されたスプリンクラーヘッドが火災を感知し、自動的に放水行う消火設備です。

→ 特別な操作は必要ない！！

＜スプリンクラー設備のイメージ＞



## 2 操作方法を知ろう！！(止め方を覚えよう)

### ① 消火を確認



※ 表面が消火されても、中に残り火が残っている可能性があるため、必ず中まで確認し、火がくすぶっている場合には水などで完全に消火する。

### ② 放水している際の制御弁を閉鎖



※ 普段から制御弁のある位置を確認しておく。

### ③ ポンプの制御盤のポンプ停止ボタンを押す



停止ボタン

スプリンクラー設備が作動し、消火後の放水による水損被害を低減するために、少しでも早く制御弁を閉鎖できるようにしてください。また、設備の取扱いや、制御弁室の鍵の管理場所を確認して、有事の際は対応できるようにしてください。